

～夢と希望をはぐくむ県南の教育～



# 県南社教TIMES

第7号

平成30年10月25日

編集・発行 福島県教育庁県南教育事務所 阿部 央

タイトル名を「社会教育課通信」から「県南社教TIMES」としました。

## 「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい事業」の御礼！

◆◆◆ 県南域内で、10,089点の応募 ◆◆◆

共通の体験をもとに、子どもと大人がそれぞれの立場からの思いを十七字で表現する「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい事業」は、今年度も各学校等（幼・小・中・県立）のご協力のおかげで、1万点を超える応募数となりました。

この事業は、体験活動を通じた親子のふれあいや絆を深めるものであり、市町村教育委員会や各学校の皆様のご理解ご協力で感謝申し上げます。10月16日（火）には、退職校長会西白河支部・東白川支部24名の皆様にご協力いただき第一次審査を行いました。

なお、入賞作品は、12月頃に発表される予定です。



<第一次審査会 10/16>

### 【応募した保護者の感想】

- ・小学校に入り、初めての夏休みで十七字のことを知りました。子どもと一緒に考えて楽しくやることができたので、いい思い出になりました。

### 【審査員の感想】

- ・子どもと親、兄弟、祖父母との交流が図られる作品を鑑賞できてうれしく思いつつ審査しました。
- ・低学年の正直な思いがすっと胸に入り、情景が浮かびほのぼのとさせられました。

## 子どもがふみだす ふくしま復興体験応援事業

この事業は、復興に貢献しようとする想いを高めている本県の子どもたちに、主体的に復興に寄与する社会体験活動に取り組むことをとおして、新生ふくしまを担うたくましい子どもたちの育成を図ります。

今年度は、県南域内の2つの中学校が「事業2 一人一人が復興大使！！」として活動しました。

### 棚倉中学校（神奈川県鎌倉市・横浜市 9/11）

修学旅行中にキャリア教育の一環として、班別自主研修の中で自作の棚倉町PRポスターを鎌倉駅と横浜商店街で1500枚配布しました。たなちゃん・法被・登り旗も持参しました。



### 川谷中学校（東京都日本橋ふくしま館 10/13）

総合的な学習の時間「F TIME」での学習成果を生かし、開拓の精神や川谷地区の魅力動画を動画やパンフレット等でPRするとともに、川谷特産の馬鈴薯もプレゼントしました。



## 家庭教育応援企業

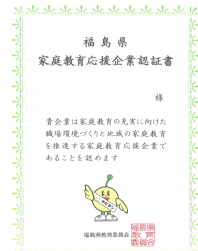
→登録企業名は、福島県社会教育課HPを参照

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/>

【トップ → 家庭教育情報（家庭教育応援企業との連携推進について） → 家庭教育応援企業一覧】

県では、家庭教育に協力する企業を募集し、企業と連携して家庭教育推進を行っています。具体的には、「職場の家庭教育推進」「生活習慣を向上させる取組」「学校行事への参加促進」「職場見学・体験の実施」「地域行事への協力・支援」のいずれかに取り組んでいる企業に『家庭教育応援企業』として登録していただいています。登録企業には、「家庭教育応援企業認証書」を発行し、家庭教育推進にご理解ご協力いただくようお願いしています。この事業は平成27年度から始まり、県南域内では、9市町村の57社が登録しています。（10/25現在）

今後も、企業や地域と連携しながら、家庭教育を推進していきます。



# 各校の実践紹介

各学校では、地域の人材活用・体験活動や社会体験の充実・言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成に向け、創意工夫ある教育活動を実施しています。ここでは、社会教育事業とも関連した実践を紹介します。



## 校内ビブリオバトル 9/19 【表郷中学校】

予選から全校生が参加し、この日は午後から準決勝リーグ・決勝リーグを実施しました。決勝は体育館で行い、発表者（生徒5名＋教員1名）は本への想いや感動を4分間のプレゼンの中で聴衆にうまく伝えました。大会は生徒が中心となって運営し、投票する生徒からも積極的に質問が出ました。全校生と教師が一体となったすばらしいビブリオバトル大会でした。この日は、白河市の学校図書館担当者・学校司書研修会に参加された先生方も参観され、高い評価の感想が多く聞かれました。



## 家庭科出前講座 9/28 【白河中央中学校】

3年生の家庭科「子どもと家族・家庭・地域」のまとめの授業で、親業サークル輝々(キラキラ)の代表である今野登志子先生を講師にお迎えし、家庭の役割と子どもの関わりについて学習しました。子どもたちは、講義や演習をとおして、「聞く・話す」の大切さや心に寄り添う必要性を学びました。白河中央中学校では、この他にも道徳の時間に、「しらかわ語りの会」を外部講師に依頼した授業も実施するなど、カリキュラムにうまく地域人材を取り入れた授業を進めています。



## 稲作体験(脱穀) 10/15 【社川小学校】

「ひがししらかわ輝くふる郷体験事業」これは、東白川地域の子どもたちが伝統文化の学習や体験活動をとおして、郷土を愛する心を育み、人と人、人と地域の絆を大切にす豊かで優しい心を育成する事業です。今年度は、東白川郡内のすべての小学校で地域人材を活用した授業を実施しています。社川小学校では、学校田を活用して、田植え・生育観察・稲刈り・脱穀・収穫祭・新米の販売体験と、地域の指導者やPTA等の協力により、年間をとおした学習を行っています。

## 家庭教育支援プログラム(9/21)

これは県南独自の事業で、PTA行事や家庭教育講演会などの講師を県南教育事務所が紹介します。

小田倉小学校PTAでは、昨年度に引き続き、講師に親業シニアインストラクター大屋弘子先生をお迎えしました。講演では、子どもの心を開く聞き方、対立したときの解決法などのお話がありました。また、子どもの心に届く話し方について、ロールプレイングをとおして各ケースに応じた子どもの心に届く話し方の演習も行いました。参加者からは、これからの親子の良好な関係づくりの参考になり、家庭で実践してみたいという声がたくさん聞かれました。



# 研修会のご案内

参加無料でどなたでも参加できます。(家庭教育関係者・教育委員会担当者・PTA・企業・学校等) 興味関心のある講演1コマでもOKです。たくさんの皆様の参加をお待ちしています。

## 家庭教育応援事業「フォローアップ研修」

- ◇日時 11月26日(月) 10:20~16:10
  - ◇会場 新白信ビル2階 大会議室
  - ◇日程 10:20~10:30(開会式) 10:30~11:50(講演1) 13:10~14:30(講演2) 14:45~16:05(講演3) 16:05~16:10(閉会)
  - ◇内容
- 【講演1】茨城県下妻市教育委員会生涯学習課社会教育主事 鈴木 勝久 氏  
「すき間のない温かみのある家庭教育支援」  
～「家庭教育の講話」及び「特別な支援を要する子をもつ保護者への支援」を通して～
- 【講演2】株式会社アポガス 代表取締役社長 篠木 雄司 氏  
「人生の生き方®️を通した人づくり」  
～計画的無意識性人材育成戦略 = AIに負けない人づくりの極意～
- 【講演3】独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家所長 松村 純子 氏  
「子供の頃の体験がはぐくむ力」  
～「体験の風をおこそう」運動と「早寝早起き朝ごはん」運動を通して～

◇申込期限 11月16日(金)・・・県南教育事務所まで